

## テーマ この町で生まれ、出会い、語り合う喜びと感謝

～地域を守る人づくり～

## 目標 5校園の特色ある活動を推進・連携し子どもの夢と希望をはぐくむ。

### 今年度の取組紹介

#### 防災セミナー2015

8月1日 奈良市消防本部、危機管理課、北消防署の指導の下、今年は地域防災関係者の参加を得て、子どもから大人まで地域の防災について、話し合い、レベルアップした内容の体験ができました。地域の連携に役立つ活動に育つことを願います。



#### 教員・コーディネーター合同研修会

8月20日中学校区の教員全体研修会に地域コーディネーターも参加し、合同研修の機会を得ました。子どもたちについてだけでなく、地域の中で学校、住民と子どもたちの関わり方について、共に学びました。

本音を交わしたグループセッションで地域学校連携の方向性を見いだせました。



### 今年度のまとめ

幼稚園・小学校・中学校で、危機管理課消防局、消防署、消防団の指導・協力のもとに、防災プログラムを企画し、防災意識の高い子どもを育てることを目指し2年目を迎えました。

「助けられる側から助ける側へ」を児童、生徒に促し、それぞれの授業や活動を体験しました。防災の取組を継続するためにも、教員、地域で目的と方法の問題点を見直し、子ども達にとってより良い防災プログラムを作り上げる必要を感じます。

各種ボランティアの活動が年間を通じておこなうことができ、学校支援の輪は保たれていますが、地域全体に事業の周知徹底はいまだ途半ばと思われるます。

### 来年度に向けて

- ・取組の効果の検証を行ない、活動の取捨選択をしつつ、マンネリにならないように心掛けます。
- ・さらなる広報活動により、事業の理解徹底と多くの活動への参加者を募ります。
- ・もっと子どもたちの声を聴く機会をもち、子どもが自ら動けるエネルギーを引き出します。

テーマ

**とりどりの花を咲かせる** ～地域ボランティアとともに～

目標

- ・中学生を地域のリーダーとして小中協同の防災訓練の取組をすすめる。
- ・「とりどりの花を咲かせる」ための土壌づくりとして、環境整備作業をすすめる。
- ・人と人の絆の中で互いの人間形成をすすめるため、地域・保護者とともに交流を深め、ボランティア活動に取り組む。

今年も①中学校を中心とした地域の防災活動、②「とりどりの花を咲かせる」ための環境整備活動、③人と人の絆を大切に地域と交流を深める取組をポイントとして活動を行いました。

## ◆防災セミナー

8月1日（土）、消防署、消防団、危機管理課の協力を得て防災セミナーを行いました。児童・生徒、保護者、地域住民あわせて、120名を超える参加の中、「もしもの時、自分たちにできることは何か」をテーマに「お話を聞こう」「考えてみよう」「体験してみよう」という三つのセッションに取り組めました。



危機管理監から防災や被災地について話を聞いたり、自分たちの住む町の防災について考えたり、防災体験（起震車、放水体験、煙体験）や非常食を作ったりしながら、生徒たちは、「自分たちも地域の一員である」ことを感じる事ができました。

## ◆地域一斉清掃

12月5日（土）中学校周辺の一斉清掃を、地域の方々と共に取り組みました。中学生に加えて自治会、少年スポーツ団体など、総勢150名ほどの参加があり、一緒に中学校・神功小学校・神功幼稚園周辺の落ち葉清掃・溝掃除に汗を流しました。年が明けてから集めた落ち葉で来年度の花壇整備に使えるように地域の方々の協力のもと、みんなで腐葉土づくりに挑戦しました。



地域ボランティアのみなさんによる日々の環境整備活動・図書室支援活動において、中学校では地域の方々との交流がごく自然な当たり前の風景となっており、生徒は地域の人々とふれあい、見守られていることを理解し、安心して学校生活を送ることができています。また「防災セミナー」や「校区一斉清掃」においては、貴重な体験を得ることにより防災や地域環境への意識が高まると同時に、普段は学校と直接かかわることがない地域の方々と接することで、地域住民としての自覚も芽生えています。

地域における中学生の存在が、防災活動でも重要になってきています。「防災セミナー」の中身も含め、取組のより一層の充実と改善を図り、「頼られる存在」としての自覚をもたせたいと考えています。また来年度は、学習面においても地域の協力を得るなどボランティアの皆さんと一緒に活動する機会を増やして行くことによって、さらに地域の一員であるとの意識と同時に感謝の気持ちをもたせられるようにして行きたいと考えています。

テーマ

**学校が好き、地域が好き、右京はみんな一つ**

目標

**地域への意識を高め、地域活動に積極的に参加する児童を育てる**今年度の取組紹介

## ○右京地区防災訓練（10月25日）

晴天の中、右京地区防災訓練が実施された。1ヶ月前から6年生が防災訓練ポスターを描き、掲示でアピールして当日を迎えた。消防訓練や煙体験、大声コンテスト等、地域住民や児童、小学校職員も多数参加して体験し、防災意識を高めた。校舎内消火栓を使った、教職員による放水訓練も行いました。



## ○北部会館「地域との交流会」（1月16日）

今年で5回目を迎える北部会館での「地域との交流会」は、多くの保護者や地域の方々が来場し、盛会のうちに終わった。かわいい幼稚園の歌、小学生の出し物、おはなしの会による大型紙芝居、一条高ダンスや、本校卒業生のプロマジシャンによるパフォーマンスの公演を楽しんでいただき、地域との交流がいっそう深まった。中学校区校長先生3人での歌のサプライズも盛り上がりしました。



## &lt;来場者感想より&gt;

- ・素晴らしいパフォーマンスでした。子どもたちの未来は明るいと感じました。
- ・右京の子どもたちみんな素敵でした。参加することに意義があると思いますし楽しそうに頑張っている姿がすごいなと思いました。
- ・人数は少なくなってきている右京っ子ですが、卒業生の活躍を見ることもできて嬉しく思います。

今年度のまとめ

- プール学習と水泳教室に、地域の方と共に4年連続で外部機関から講師を招聘したことは、児童の泳力向上に成果があった。泳げることに自信をもち、意欲的に授業を受ける児童が増えました。
- 各学年で系統的に取り組んでいる防災学習と相まって、地域の防災訓練に児童が積極的に参加することで、地域の一員であることの意識をより一層高めることができました。
- 北部会館での地域との交流会は、多くの応援感想をいただき、年々、地域と保護者、児童等のきずなを深める取組になってきている。うれしいことです。
- 環境ボランティアさんの活動や万青さんの学習支援、右京おはなしの会の活動は学校力を高める大きな一助となっています。

来年度に向けて

- 今年度のテーマ・目標・事業を継承していきます。
- 校区全体の統一した防災学習を実施し、小中一貫教育地域の一員としての意識を高めます。

テーマ

**地域と共に心を耕し、夢を育む神功の子**

目標

“自分がすき、友だちがすき、この町がすき”と言える神功っ子を  
地域と学校が連携協力して育てていく。

今年度の取組紹介

**◆学びの場を共に豊かに！学びフェス 2015**

子どもたちに豊かな学びの場と様々な人とつながる場を設けたいと考え、重点事業学びフェス 2015 を本年度も実施しました。地域の福祉協議会、文化サークル、スポーツ団体、公民館、中学校、高校、大学や奈良市の消防署、消防団、奈良警察、危機管理課などのマンパワーを最大限に活用し、子どもたちの学びを中心に多くのつながりが生まれました。地域からの参加者も継続していく中で増えてきており、地域のイベントの一つとして認知されるようになってきたと感じられます。また、防災の視点でのコーナー企画も充実し、大人と子どもがともに学び合う機会にもなっています。

**◆豊かな奈良との出会いを演出したゲストティーチャー招聘事業**

ゲストティーチャー招聘事業では様々な分野のゲストティーチャーを招いての豊かな学びを子どもたちに体験させることができました。本年度は特に、「奈良」をキーワードにした学びを地域のゲストティーチャーのお力で充実させることができました。奈良筆の製作体験、能楽体験、日本のお茶文化体験、白鳳期の古瓦拓本体験、吉野葛を使った葛餅づくり体験、奈良を訪れる外国人の方との出会いのためのインタビュー体験、ニュータウンの歩みと神功の町の良さを見つめるための聞き取り体験などを通して、深く、豊かに「奈良」について学ぶことができました。



今年度のまとめ

重点事業学びフェス 2015 では、地域の大人も子どもとともに参加し、ともに作り上げる企画として取り組むことができました。その成果もあって「また、来年も必ず来ますね。」「楽しみにしていました。」などの声が地域の方から聞かれるようになりました。また、防災についての『意識』とともに継続して取組ことで『知識』の積み上げも感じるようになりました。防災体験事業とともに地域で「助ける側」になれる人づくりに繋がっています。

ゲストティーチャー招聘事業の中で出会った沢山の地域の方、ボランティアの方から、子どもたちは豊かな体験や知識を学ぶことができたとともに、地域や奈良を愛し、大切に思う心も受け継ぐきっかけになりました。このような取組を通して、子どもたちの地域行事への参加や地域清掃などボランティア活動への意識も高まり、参加も増えてきています。

来年度に向けて

学びフェスという重点事業を継続する中で、子どもたちに「自助」の力をつけつつ、地域の防災訓練への参加を促しながら地域の中での「共助」へと高めていけるよう、取組を継続、発展させていきたいと思えます。

環境整備事業や図書環境整備事業等にかかわるボランティアの増員と子どもたちの活動への参加をさらに進めていきたいと思っています。

テーマ

**幼稚園が好き、地域が好き、右京はみんな一つだ！**

目標

**地域と連携しながら心豊かで生き生きと活動する幼児を育てる**

## 今年度の取組紹介

わらべうた教室をゲストティーチャーを招き、地域の万年青年クラブの方々と一緒に年3回実施しました。園児数の減少に伴い、今年度からは全園児が一緒に行いました。毎回多くの万年青年クラブの方々に参加いただき楽しみました。今年度は二回目に保護者にも参加していただき、園児が地域の方々と一緒に楽しんでいるわらべうた教室の様子を見ていただいたり、地域の方々と親子でわらべうた遊びを楽しんだりしました。参加された保護者は「子どもたちが地域の方々と楽しんでいる様子がよくわかった。」「一緒に遊べて良かった」などの声が聞かれました。「地域の方々と一緒に子どもたちを育てる」取組を知っていただける機会にもなりました。



昨年度に引き続き、地域の方をゲストティーチャーに招いて柔道教室、おはなし会、しめ縄作りを行いました。年間8回実施したおはなし会を園児は毎回、喜んで参加していました。12月のお楽しみ会にはおはなし会の方々がパネルシアターや紙芝居など手作りしたおはなしを演じていただきました。未就園児も参加し目を輝かせておはなしの世界に浸っていました。保護者から「幼稚園でいろいろ楽しい経験をさせてもらうことは子どもたちにとって、とてもよいことだ……。」など多くの声をいただきました。



## 今年度のまとめ

地域の方々とのおふれ合いや地域の学校園との交流を通して園児達は豊かな経験や体験ができ、いろいろな人とのコミュニケーション力の育成や地域と共に子どもを育てる取組につながったと思います。地域の方々は毎回参加を楽しみにしておられ、園児達に優しく接してくださいました。

菜園活動や環境整備を地域の方々に来ていただき一緒に行いました。収穫祭では収穫の喜びを一緒に味わうことができました。

地域の方々にゲストティーチャーに招いたおはなし会、体力向上に向けた取組は地域の教育力をいただき心豊かな幼児を育てることができました。

## 来年度に向けて

- ・今まで積み重ねてきた地域力を生かし、よりいっそう地域と連携しながら子どもたちに豊かな体ができるような取組を推進していきます。
- ・地域の人や近隣の学校園との交流を深め、コミュニケーション力の育成につとめたいと考えています。
- ・体力向上に向けた取り組みを引き続き進めていきたいと思ひます。

テーマ

**ふれあい・つなごう・笑顔の輪**

目標

身近な環境や様々な“ひと・もの・こと”とのかかわり、体験を通して感動を共有できるような場の構成や環境づくりの工夫を幼稚園・地域が協働し推進する。

## 今年度の取組紹介

今年度は、昨年度に引き続き、園環境整備の継続と体験活動の充実に重点をおいて取り組みました。

中でも、『遊び場づくり』では、砂場や固定遊具のある保育室前の園庭で遊ぶことが多かった子どもたちに、園庭の東側へも遊びの場を広げてほしいとの思いから築山の南側にアスレチックを作りました。夏休みを利用して、職員、地域の方、保護者や子どもたちと一緒に取り組みました。園長先生の設計をもとに、土台となる基礎を埋めたり、木材に防腐剤を塗ったり、木材をねじ釘でしっかりと固定したり…。アスレチックの2階部分や柵などの高い所の作業や力のいる作業は男性陣、床の板を釘で固定したり、防腐剤を塗ったりは女性陣、水性ペンの塗装は子どもたちというように分業しながら、大勢の協力の元、新たな遊び場が完成しました！！

できあがった遊び場は、子どもたちが登ったり下りたりアスレチック遊びを楽しむだけでなく、様々なごっこ遊びの基地になりました。新たな遊びの場を作ったことで、子どもたちの遊びの場も園庭全体へと広がりました。



## 今年度のまとめ

地域の方、保護者の方の協力で、子どもたちは様々な人とふれあい、遊び場づくり、菜園活動、絵本の読み聞かせ活動、講師を招聘しての運動遊び、科学遊び、音楽コンサートなどいろいろな体験を経て、笑顔の輪が広がってきました。保護者からも「少人数だが、季節毎にいろいろな行事を体験する機会や地域の方との接点も多く、幅広い方々とふれあえるのは良い。」「畑で育てた野菜でカレーパーティーや焼き芋をすることで、野菜を育てる大変さや収穫して食べる喜びを味わえてとても良い。地域の方の協力がありがたい。」との感想をいただいています。

## 来年度に向けて

来年度は、こども園へ移行するにあたり、園舎の改修・増築工事があります。それに伴い、菜園の場所の移動なども必要となり、身近な環境の見直しや園環境整備が課題となってきます。地域、保護者とのつながりを大切にし、子どもたちが感動を共有できるような場の構成や環境づくりの工夫をさらに充実させていきたいと思えます。